



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年2月13日

上場会社名 マルシェ株式会社

上場取引所 東

コード番号 7524 URL <https://www.marche.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 洋嗣

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 藤原 徹二

TEL 06-6624-8100

四半期報告書提出予定日 2023年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	3,435	72.1	366		347		459	
2022年3月期第3四半期	1,995	39.0	886		103		122	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	57.26	
2022年3月期第3四半期	15.30	

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	%	%
2023年3月期第3四半期	4,069		192		4.7	
2022年3月期	4,030		650		16.1	

(参考)自己資本 2023年3月期第3四半期 192百万円 2022年3月期 650百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		0.00	0.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,680	178.1	442		422		600		74.74

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	8,550,400 株	2022年3月期	8,550,400 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	522,110 株	2022年3月期	522,110 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	8,028,290 株	2022年3月期3Q	8,028,290 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況(1) 当期の経営成績の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
3. 補足情報	7
〔参考〕業態別出退店の状況	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症にかかわる行動制限が緩和されたことから感染症対策と経済活動の両立による正常化が進み、徐々に回復の兆しが見られたものの、第7波と第8波と呼ばれる急激な感染拡大により、消費行動には自粛の動きがみられ、海外情勢や円安の進行に伴う物価高騰が顕著となり、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、特に規制のない状況の中、来店客数には回復の兆しが見られつつありましたが、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大による消費者の活動の停滞や原材料費・水道光熱費の価格上昇、労働力不足の深刻化等、事業を取り巻く環境は厳しい状況が続いております。コロナ禍での生活習慣の変化により、居酒屋業においては制限緩和後も平日や深夜時間帯での集客の低迷が続いております。

このような環境の中、当社は営業活動におけるキーワード「人・美味しさ・楽しさ」に「かわる」を加え、2022年秋のメニュー改訂において、「高品質メニューの販売」を開始する等の営業施策により、店舗販売価格の改定を行うことで客単価の上昇を記録いたしました。さらに、SDGs「持続可能な開発の推進」や「環境に対する取り組み」から、採用する商材の見直しを実施いたしました。継続した顧客開拓をすべく、八剣伝業態においてはテイクアウト販売「街の焼鳥屋さん」の併設促進と餃子食堂マルケンでは、ランチ営業とテイクアウト・デリバリー販売の推進をはかり、新たな顧客層の獲得に取り組んでおります。

このような取り組みを行った結果、当第3四半期累計期間における経営成績は、売上高は3,435,535千円（前年同期比72.1%増）、営業損失は366,289千円（前年同期は営業損失886,325千円）、経常損失は347,245千円（前年同期は経常損失103,282千円）、四半期純損失は459,698千円（前年同期は四半期純損失122,869千円）となりました。

【当第3四半期の業績の概況】

	前第3四半期 自 2021年4月1日 至 2021年12月31日	当第3四半期 自 2022年4月1日 至 2022年12月31日	対前年同期比	
			増減額	増減率 (%)
売上高 (百万円)	1,995	3,435	1,439	72.1
営業損失 (△) (百万円)	△886	△366	520	-
経常損失 (△) (百万円)	△103	△347	△243	-
四半期純損失 (△) (百万円)	△122	△459	△336	-
1株当たり四半期純損失 (△)	△15円30銭	△57円26銭	△41円96銭	-

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

資産、負債、純資産及び自己資本比率の状況は下記の通りとなります。

(単位：百万円)

	2022年3月期末	当第3四半期末	増減
資 産	4,030	4,069	38
負 債	3,380	3,877	496
純 資 産	650	192	△457
自己資本比率 (%)	16.1	4.7	△11.4

当第3四半期累計期間におきましては、現金及び預金75,624千円の増加、売掛金179,150千円の増加、未収入金177,114千円の減少等により、総資産が前事業年度末に比べ38,895千円増加し、4,069,673千円となりました。

負債は、主に買掛金371,059千円の増加、資産除去債務65,336千円の増加等により、前事業年度末に比べ496,618千円増加し、3,877,267千円となりました。

純資産は、主に四半期純損失の計上により457,722千円減少し、192,406千円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2023年2月13日に公表いたしました「2023年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い、重要な営業損失、経常損失及び当期純損失を前事業年度に引続き計上したことから、現時点においては継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象または状況が存在しております。

しかしながら、当社の当第3四半期末の現金及び預金の残高は2,464百万円であり、複数の金融機関等から資金調達を実施した後も継続した借入により当面の資金を確保しており、重要な資金繰りの懸念はありません。従って、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

尚、当該事象または状況の解消のため、コスト圧縮等の対策を実行すると共に、既存店舗に本格的な中食市場へのアプローチ「街の焼鳥屋さん」の併設、既存事業の再構築、デリバリーサービスの強化等により売上拡大と利益確保を目指してまいります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,388,898	2,464,523
売掛金	182,971	362,122
商品及び製品	25,501	25,519
原材料及び貯蔵品	29,044	31,756
未収入金	266,208	89,094
その他	57,285	59,647
貸倒引当金	△2,203	△3,638
流動資産合計	2,947,705	3,029,024
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	424,348	365,152
土地	149,366	149,366
その他(純額)	52,091	44,273
有形固定資産合計	625,805	558,791
無形固定資産	28,872	78,787
投資その他の資産		
差入保証金	373,848	331,870
その他	74,994	90,895
貸倒引当金	△20,449	△19,696
投資その他の資産合計	428,394	403,069
固定資産合計	1,083,072	1,040,648
資産合計	4,030,777	4,069,673
負債の部		
流動負債		
買掛金	175,516	546,576
短期借入金	1,800,000	1,800,000
1年内返済予定の長期借入金	60,000	60,000
賞与引当金	25,795	12,508
株主優待引当金	56,004	69,985
資産除去債務	6,186	84,712
その他	352,127	461,170
流動負債合計	2,475,630	3,034,953
固定負債		
資産除去債務	106,893	93,703
長期借入金	415,000	375,000
その他	383,125	373,610
固定負債合計	905,018	842,313
負債合計	3,380,648	3,877,267
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,510,530	100,000
資本剰余金	1,619,390	3,029,920
利益剰余金	△2,030,078	△2,489,777
自己株式	△453,378	△453,378
株主資本合計	646,462	186,763
評価・換算差額等		

その他有価証券評価差額金	3,666	5,642
評価・換算差額等合計	3,666	5,642
純資産合計	650,128	192,406
負債純資産合計	4,030,777	4,069,673

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	1,995,801	3,435,535
売上原価	842,866	1,367,437
売上総利益	1,152,934	2,068,098
販売費及び一般管理費	2,039,259	2,434,388
営業損失(△)	△886,325	△366,289
営業外収益		
受取利息	506	325
受取配当金	524	588
受取家賃	6,004	7,208
雇用調整助成金	169,208	-
新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金	611,136	10,229
賃貸収入	4,438	4,336
その他	5,790	12,046
営業外収益合計	797,609	34,734
営業外費用		
支払利息	10,370	15,393
その他	4,195	296
営業外費用合計	14,565	15,689
経常損失(△)	△103,282	△347,245
特別利益		
固定資産売却益	1,356	3,329
資産除去債務戻入益	-	15,156
特別利益合計	1,356	18,486
特別損失		
固定資産除却損	0	296
固定資産売却損	0	0
減損損失	-	104,797
賃貸借契約解約損	352	1,000
特別損失合計	352	106,093
税引前四半期純損失(△)	△102,277	△434,852
法人税等	20,591	24,846
四半期純損失(△)	△122,869	△459,698

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年6月25日開催の定時株主総会決議に基づき、2022年7月1日に無償減資を行いました。この無償減資等の結果、当第3四半期累計期間において資本金が1,410,530千円減少、その他資本剰余金が1,410,530千円増加し、当第3四半期会計期末において、資本金は100,000千円、その他資本剰余金は2,213,193千円となっております。

3. 補足情報

〔参考〕業態別出退店の状況

		前事業年度					当第3四半期				
		自 2021年4月1日					自 2022年4月1日				
		至 2022年3月31日					至 2022年12月31日				
		期首 店舗数	出店数	退店数	期末店舗数		期首 店舗数	出店数	退店数	期末店舗数	
	増減数					増減数					
直 営 店	酔 虎 伝	5	3	-	8	3	8	-	3	5	△3
	八 剣 伝	49	1	1	49	-	49	-	2	47	△2
	居 心 伝	6	-	1	5	△1	5	-	1	4	△1
	串 ま ん	1	-	-	1	-	1	-	-	1	-
	八 右 衛 門	4	-	-	4	-	4	-	-	4	-
	焼そばセンター	7	-	3	4	△3	4	-	-	4	-
	マ ル ケ ン	25	4	1	28	3	28	-	2	26	△2
	そ の 他	4	2	-	6	2	6	-	1	5	△1
小 計	101	10	6	105	4	105	-	9	96	△9	
F C 加 盟 店	酔 虎 伝	10	-	-	10	-	10	-	-	10	-
	八 剣 伝	228	2	15	215	△13	215	3	10	208	△7
	居 心 伝	7	1	2	6	△1	6	1	1	6	-
	そ の 他	16	-	2	14	△2	14	-	-	14	-
小 計	261	3	19	245	△16	245	4	11	238	△7	
合 計	362	13	25	350	△12	350	4	20	334	△16	